

2018年10月～12月（平成30年） 暗唱聖句 第四期 「キリストにおける一致」 口語訳

<p>第一課 一〇月六日 「そして主は彼を外に連れ出して言われた、『天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい』。また彼に言われた、『あなたの子孫はあのようになるでしょう』。アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた」 創世記 一五ノ五、六 口語訳</p>	<p>第二課 一〇月十三日 「主を恐れることは知恵のもとである、聖なる者を知ることが、悟りである」 箴言 九ノ一〇 口語訳</p>	<p>第三課 一〇月二〇日 「わたしは彼らのためばかりではなく、彼らの言葉を聞いてわたしを信じている人々のためにも、お願いいたします。父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためであります。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり、それによって、あなたがわたしをおつかわしになったことを、世が信じるようになるためであります」 ヨハネ 一七ノ二〇、二二 口語訳</p>	<p>第四課 一〇月二七日 「御旨の奥義を、自らあらかじめ定められた計画に従って、わたしたちに示して下さったのである。それは、時の満ちるに及んで実現されるご計画にほかならない。それによって、神は天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあつて一つに帰せしめようとされたのである」 エペソ 一ノ九、一〇 口語訳</p>	<p>第五課 一月三日 「そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた」 使徒行伝 二ノ四一 口語訳</p>	<p>第六課 一月一〇日 「からだの一つであっても肢体は多くあり、また、からだのすべての肢体が多くあつても、からだは一つであるように、キリストの場合も同様である」 コリント 一ノ一二 口語訳</p>	<p>第七課 一月一七日 「キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあつて一つだからである」 ガラテヤ 三ノ二七、二八 口語訳</p>
<p>第八課 一月二四日 「この人による以外に救はない。わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである」 使徒行伝 四ノ一二 口語訳</p>	<p>第九課 二月一日 「このことは彼が自分から言ったのではない。彼はこの年の大祭司であつたので、預言をして、イエスが国民のために、ただ国民のためだけではなく、また散在している神の子らを一つに集めるために、死ぬことになつていると、言つたのである」 ヨハネ 一一ノ五一、五二 口語訳</p>	<p>第一〇課 二月八日 「もし、わたしたちが敵であつた時でさえ、御子の死によつて神との和解を受けたとすれば、和解を受けている今は、なおさら、彼のいのちによつて救われるであろう」 ローマ 五ノ一〇 口語訳</p>	<p>第一一課 二月十五日 「わたしは、もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、大声で言つた、『神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め』」 黙示録 一四ノ六、七 口語訳</p>	<p>第一二課 二月二三日 「あなたがたの間ではそうであつてはならない。かえつて、あなたがたの間で偉くなりたいと思ふ者は、仕える人となり、あなたがたの間でかしらになりたいと思ふ者は、僕とならねばならない」 マタイ 二〇ノ二六、二七 口語訳</p>	<p>第一三課 二月二九日 「しかし、わたしたちは、神の約束に従つて、義の住む新しい天と新しい地とを待ち望んでいる」 ロベテロ 三ノ一三 口語訳</p>	

「SDA教団ホームページ」 『 <http://cm.adventist.jp/> 』 ⇒ 聖書の学び ⇒ 暗唱聖句表から 口語訳／新共同訳をダウンロード